

# 鷹取山で見られるドングリの木



## コナラ

一番多いドングリの木です。殻斗の様子はウロコ模様です。ミズナラ(オオナラ)に対してコナラの名がついている。(コナラ属)



## クヌギ

丸い大きなドングリを作る。殻斗のまわりにはが細く尖って反り返ったとげがついている。実は渋い。葉は栗と似ている。(コナラ属)



## スダジイ

細長い卵型で先がとがる。ドングリは翌年の秋に熟し食べられる。どんぐりを包む、殻斗は3つに裂けている。(シイ属)



## アカガシ

ドングリは翌年の秋に熟し、殻斗は約10本の渦巻きがある。材が赤いことからこの名がある。葉に鋸歯がない。(コナラ属)



## アラガシ

アカガシと違い葉に鋸歯がある。殻斗には6本前後の渦巻きがある。1年で熟す。(コナラ属)



## ウラジロガシ

鋸歯が鋭くとがる。葉の裏面は白色になる。殻斗には渦巻きがある。(コナラ属)







## シラカシ

ドングリは秋に熟す。殻斗には渦巻きがある。材は白い。鷹取山では稀に見られる。(コナラ属)



## ウバメガシ

海岸沿いに分布する。ドングリは2年目の秋に熟し、2個ずつ付く。殻斗はウロコ模様です。西友鷹取店の生け垣に使われている。(コナラ属)



## クリ

秋に実が成熟すると殻斗が開いて堅い果実(堅果)が1-3個ずつ現れる。(クリ属)



## カシワ

山ではなく住宅地の庭で見られる。葉は大きく、柏餅に利用する。ドングリはクヌギに似て丸く、殻斗は先がとがって反り返る。新芽が出るまでは落葉しない。(コナラ属)



## マテバシイ

ドングリは長さ2cm前後の紡錘型で、翌年の秋に褐色に熟す。苦みがなく食べられる。殻斗の様子はウロコ模様。(マテバシイ属)



## 鷹取山のドングリ

ドングリという木はありません。樹木の仲間を分けると、その中に「ブナ科」というものがあります。ドングリの定義はいろいろありますが、ここではドングリはブナ科の樹木に硬い皮をもった丸っこい実のことをいいます。この固い実のことをドングリ(団栗)といいます。ドングリのぼうしは、「殻斗(かくと)」と呼ばれます。

ドングリの分類は大きさ、形、そして殻斗のもようでわかります。鷹取山のドングリを観察してください。